

広域強盗団とテレグラム

JJ1SXA/池

現在(2023年1月)、連日新聞紙上を賑わしているのは、関東地方を中心に相次いだ広域強盗事件だ。

広域強盗団の首謀者「ルフィー等」は、マニラ郊外の入管施設内からスマホやパソコンで、メッセージングアプリ「テレグラム」を駆使して犯罪を指示していた模様。

この、マニラ郊外の収容所では賄賂による不正が横行し、内情を知る男性は「悪人の楽園」と呼んでいる。

賄賂の多寡によってスマートフォンやパソコンを使用することができ、収容所内でオンラインカジノの運営や、特殊詐欺を差配する者もいたらしい、広域強盗団も収容所内から「テレグラム」などの通信手段で指示を出していたようだ。

日本とフィリピンの間には犯罪人引き渡し条約が無く、フィリピン側に強制送還を要請するしか無いが、収容者らは新たな告訴人を買収することで訴訟案件を作り、送還を逃れてきたとされる。

何処までも、悪知恵の働く輩達だ、そこへ、連絡手段に使うメッセージングアプリは「テレグラム」だ、この「テレグラム」の最も注目されている点は、チャットのセキュリティが高いということだ。

誰でも名前は知っているであろう、Facebook、Twitter、YouTube、Instagram、TikTok等、或いは、Messenger、Zoom、Skype等々の数あるアプリ、そして、メッセージングアプリは、LINE、Discord、WhatsApp等と今話題の「Telegram」等々…便利な物が溢れている。

「テレグラム」の特徴は、何と言ってもセキュリティが高いということだ、使い方はLINEやWhatsAppなどと同じく、1対1やグループでのチャットができるが、「シークレットチャット」を使うと、その通信は、直接当事者に配信されサーバにも残らない、このため、運営者も知ることができませんし、メッセージは暗号化されており、ハッキングされても内容が知られなくて済むのだ。

シークレットチャットは、ログアウトするとメッセージが削除されますし、また、使い方として、時間を区切って自動的にメッセージを削除してしまうことも可能、また、メッセージの転送を禁止することもできる、こうした機能により、秘密が漏れる心配も無く、重要な事項の連絡に便利な機能だ、重要な事項の連絡に便利な機能というよりも、犯罪に使う連絡手段としては最高の手段だ、通信内容が消えてしまうのは、犯罪捜査にはお手上げだ。

「闇バイト」という言葉の意味は、出会い系のサクラ、オレオレ詐欺に加担する出し子や受け子といった、違法な手段で高額な報酬を受け取るアルバイトを指す言葉だ、そしてそんな闇バイトでは、主犯格と実行役として雇われたアルバイトの連絡手段として、使われるのが、テレグラムだ、産経新聞によると、「令和元年以降に警視庁捜査1課が摘発した強盗事件41件のうち39件でテレグラムの使用が確認されたことが、捜査関係者への取材で明らかになった」とのこと、このアプリの開発者には全く想定外の使われ方だろうと思う、運営会社の「Telegram Messenger LLP」の今後の対応に変化があるのか？

多分、この記事が読まれる頃は、比の入管施設から、容疑者等の強制送還も終わり、捜査も進展、事件は大きく動いていることでしょう。

(2023年1月記)